

平成25年度第6回南相馬市事務事業事前評価結果

| | | | | | |
|-----|---|-------|-------------|-----|------------|
| No. | 3 | 事務事業名 | 鹿島児童クラブ整備事業 | 担当課 | 教育委員会幼児教育課 |
|-----|---|-------|-------------|-----|------------|

| | | |
|-------|----|--|
| 事業の目的 | 対象 | 誰に、何に対して働きかけるのか ・主に鹿島小児童（1～6年生） |
| | 意図 | 対象がどのようなになることがねらいなのか ・鹿島小の児童が、放課後に遊びの場及び生活の場を確保することができる。 |
| | 結果 | どのような結果をもたらすのか ・鹿島児童クラブに登録する児童が安定した放課後を過ごせるようになると共に、鹿島小の児童が遊びを通じて体力増進や地域活動ができるようになる。また、地域間、世代間交流の拡充につながる。 |

| | | | | |
|--------|---|---------|---------|---------|
| 手 段 | ・旧鹿島町学校給食センターを解体し、その跡地に鹿島児童クラブ（木造平屋建 総面積320㎡程度）を建設する。施設には児童クラブ室、図書室、創作室、静養室、事務室、倉庫、冷暖房装置、トイレ、駐車場を設ける。 | 事業費（千円） | 平成27年度 | 168,481 |
| | | 平成28年度 | 0 | |
| | | 平成29年度 | 0 | |
| | | 平成30年度 | 0 | |
| | | 平成31年度 | 0 | |
| | | 合計 | 168,481 | |

| | | |
|------------|------|---|
| 担当課による自己評価 | 必要性 | 市民ニーズはあるか ・鹿島児童クラブは、狭隘な教室での活動の解消と子どもの健やかな成長を資するための施設確保について要望がある。また、鹿島区には、子どもの生活の安定と子どもの能力の発達を支援していく拠点施設がなく、その整備が必要である。 |
| | 行政関与 | 市が積極的に関与すべき事業なのか ・南相馬市健康福祉総合計画の中で「働く親を支援し、児童に健全な遊びを与えて健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として施設の管理運営を図る。」ことと位置付けており、市が実施すべき事業である。 |
| | 有効性 | どのような効果が期待されるか ・子どもの健全育成に資する施設が整備されることで成果指標の達成が期待できる。 |
| | その他 | 優先性等 ・鹿島児童クラブの1人当たりの面積は1.01㎡と放課後クラブガイドライン（厚生労働省）の1人当たりの面積1.65㎡を下回っていることから、施設の規模の見合わない現状を解決するため優先的に実施すべきと考えられる。 |
| | 総合評価 | 必要性・有効性・優先性を認める。 |

| | | |
|-------|------|--|
| 委員会評価 | 総合評価 | 必要性・有効性・優先性を認める。 |
| | 付帯意見 | (1) 鹿島小学区内の住民のニーズを十分に把握し、施設の機能及び規模を精査すること。 (2) 施設の有効活用を図るためには、オープン以前から地域住民の協力を得て進めることが不可欠であることから、ソフト事業の充実を図ること。 (3) 地域住民の活動について、上位成果指標として設定すること。 |

| | |
|------|--|
| 対応方針 | ・規模を320㎡に縮小し、放課後児童クラブを実施するために必要な機能を有する施設として整備する。 議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 (平成27年3月議会に予算計上) |
|------|--|